

2023年度 日本工学院専門学校											
声優・演劇科											
ビジネススキルⅠ											
対象	1 年次	開講期	前期	区分	必修	種別	講義	時間数	15	単位	1
担当教員	平野真悟・城田浩司			実務経験	有	職種	制作（TV、イベント、ラジオ）				
担当教員紹介											
専門学校卒業後、演劇俳優科・演劇スタッフ科教育補助員を経て、2002年より教員として勤務。高校演劇講習会では、美術班講師として参加。											
授業概要											
目標の設定、試作、達成、ブラッシュアップというサイクルで課題に取り組み、デザイン思考のプロセスを学習する。一般社会、声優俳優業界で必要な一般常識、礼儀、マナーを学びオーディションで合格できる人間になる。											
到達目標											
社会で自立するために必要な「主体性」「協調性」「セルフマネジメント能力」を身につける。 「主体性」自分自身の意思や判断で責任を持って行動できるようになる。 「協調性」環境や考え方が違う人物と会話し共同作業をすることで相手の立場を考えて行動できる人材になる。 「セルフマネジメント能力」自己分析で自分を理解し、内面、行動をコントロールする術を身につける。											
授業方法											
夢設計図の作成と実践。毎週、各々でその週を総括し、翌週の課題設定したものをエクセルで作成する。エクセルデータはクラスルームに提出し担任と内容の検証をする。コミュニケーションスキル、協調性の向上を目的にグループワークを取り入れる。											
成績評価方法											
試験・課題	40%	設計図の作成と実践できた度合いで評価する。									
課題発表	30%	授業内に行われるロールプレイング・グループワークにより評価									
平常点	30%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する									
履修上の注意											
授業に出席するだけでなく、積極的な姿勢で取り組むこと。遅刻・欠席をしないこと。 受け身にならず、自分で考え、自分の意見をしっかりと伝えること。分からないことは分からないままにしないこと。 以上を心掛ける。授業時数の4分3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
データでのやり取りを基本に必要なに応じて授業にて資料配布を行う 参考書・参考資料等は授業中に指示をする											
回数	授業計画										
第1回	自己紹介/クラスの中で自己紹介										
第2回	他己紹介/役者を志す上で、周りの人間、他人に興味を持つ大事さを感じさせる										
第3回	シアターゲーム①/身体を使ったゲーム等で、集中力や信頼、反応等を意識させ、芝居人になる感覚を覚える										
第4回	シアターゲーム②/身体を使ったゲーム等で、集中力や信頼、反応等を意識させ、芝居人になる感覚を覚える										
第5回	自己分析/業界のオーディションにおける「自己PR」が今後あることも認識させる										

2023年度 日本工学院専門学校	
声優・演劇科	
ビジネススキルⅠ	
第6回	自己PR/自分の長所、業界の中で自分を売り込む、アピールポイントを考察する
第7回	自分の主張や考えの伝え方、協調性、考えの幅を広げる
第8回	読解力や時事ニュースへの関心を持たせる
第9回	自分の未来の将来設計をしてみる
第10回	自分への手紙作成/書いたら封をし、卒業時に本人へ渡す
第11回	国語テスト/収録現場にて直前原稿読み等があることに触れ、現時点での漢字の読み書きなどチェック
第12回	業界レクチャー/声優業界のしくみを知る
第13回	プレゼンテーション/班に分かれ、ある映画や舞台の宣伝を行ってみる
第14回	ディベート②/自分の主張や考えの伝え方、協調性、考えの幅を広げる
第15回	まとめ/模擬オーディション